

皆さまとおきぎんをつなぐ情報誌

沖縄銀行 ディスクローチャー誌

おきぎん 2015 情報編 レポート

はじめるって、いいね。

ピープルズバンク

 沖縄銀行

はじめるって、 いいね。

赤ちゃんのひとり歩き。
そのおぼつかない足取りで、
一步前へ踏み出して、前へ前へと歩み出す。

ひとりで乗れた自転車。
転んで、泣いてを繰り返す、気づけば笑顔で走れるように。

初めて通う学校は、不安の気持ちでいっぱい。
思い切って声をかけると、友だちの輪が広がっていく。

未来への第一歩、受験。
全力で取り組んだその姿勢は、人生のかけがえのない宝もの。

そして、就職。
悩んで、学んで、競い合い、一つひとつ成長していく。

大人になるにつれ、それぞれの道を歩み出す。
第二の人生も待っている。

あれをしたい。これもしよう。そう思いながらも、
選んだ道のその先に、踏み出せないこともある。

おきぎんは、そんな気持ちに寄り添って、
沖縄の皆さまの新しいスタートを応援したいと思っています。

あなたのくらしに、新しいよろこびを。
あなたのライフステージに、新しい選択肢を。

「はじめる」を応援する。沖縄銀行



FOR YOUR
LIFE
STAGES



CONTENTS

2 ごあいさつ

4 【特集】

変わりゆく国際通り。

10 【地域活性化の取り組み】

沖縄の発展を支える。

12 【商品・サービス】

**人生まるごと、いつでも おきぎん。
おきぎん、LINE@“はじめる”。**

16 【CSRの取り組み】

**おきぎんの人づくり
美ら島のために、できること**

20 【平成27年3月期】

業績ハイライト(単体)

21 銀行の概要

おきぎんグループ

ディスクロージャー誌がリニューアルし、皆さまと沖縄銀行をつなぐ情報誌「おきぎんレポート」になりました。本誌では、当行の取り組みとともに、沖縄の「今」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

平成27年3月期の詳細な財務データや新たに発表しました中期経営計画については「ディスクロージャー誌2015(資料編)」をご覧ください。

経営理念

地域密着
地域貢献



めざす銀行像

PEOPLE'S BANK

県民を一番愛し、一番愛される銀行



取締役頭取

玉城 義昭



沖縄銀行は、 「はじめる」を応援します。

私たち沖縄銀行は、1956年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、沖縄の中核金融機関として地域経済の発展とともに成長してきました。

沖縄では今、那覇空港滑走路増設関連工事などの公共工事や、県内の人口増加を背景とした住宅投資が高水準で推移しています。観光関連においても、航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄港などによる入域観光客の増加を背景に、県内景況は拡大の動きが強まっています。そのため、地域活性化に向けた成長分野への積極的な資金供給や、中小企業の経営改善・体質強化の支援など、地域金融機関に求められる役割はますます重要になってきています。

こうしたなか、2015年度より「中期経営計画 CHANGE FOR VALUE ～新たな価値創造の3年～」をスタートしました。お客さま目線に立った「業務革新(チェンジ)」を着実に進め、「新たな価値(バリュー)」を創造することで、お客さまに価値を評価していただける、持続可能な新たなビジネスモデルの構築につなげていきます。

当行は、県民を一番愛し、一番愛される「ピープルズバンク」をめざして、さらなる経営内容の充実や、サービス向上に努めていきます。そして、皆さまが新しい一歩を踏み出そうとするとき、皆さまの「はじめる」を応援していきたいと思えます。



特集

はじまりは、1934年。続く、奇跡の1マイル。

変わりゆく 国際通り。



戦後の焼け野原からめざましい発展を遂げた国際通り。1.6km続くその道は、復興の象徴とされ、「奇跡の1マイル」とも呼ばれています。いつでも多くの観光客で賑わうメインストリートには、Tシャツ・かりゆしウェア、やちむん(焼き物)、ちんすこうなど、沖縄ならではのアイテムをそろえたショップや、南国グルメを堪能できるバラエティ豊かな飲食店が並びます。歩行者天国になる日曜日は、ストリートパフォーマンズやイベントが行われ、いつもと違うさらに賑やかな一面も。このように、沖縄最大の繁華街となった国際通りは今、観光地化による県民離れなど、悩ましい課題も抱えています。そんな国際通りの「はじまり」から「今」に迫ります。

国際通りのあゆみ

1934 ■ 那覇の旧市街から首里まで続く県道として整備され、「新県道」と呼ばれていました。このときは、まだ周りに畑が広がる郊外の本道でした。



1948 ■ 新県道沿いに「国際通り」の名前のルーツとなる映画館「アーニー・パイル国際劇場」がオープン。



1951-1952年頃に撮影

1950 ■ アーニー・パイル国際劇場を中心に発展した商店街の名称を「国際大通り団」とし、通りも「国際通り」と名付けられました。



1964 ■ 日本初となる東京オリンピックの聖火リレーが那覇でも実施され、聖火を一目見ようと大勢の人々が沿道に集まりました。



1970~ ■ 沖縄三越の前身である大越は、1970年に三越と業務提携を結び、商号を沖縄三越に変更。以降、地元客や観光客で賑わう国際通りのシンボルとなりました。



沖縄三越前(1978)

1990~ ■ 1995年、「第1回 一万人のエイサー踊り隊」が国際通りで開催。今では、県内外から多くの見物客が訪れる、夏の風物詩となっています。



写真中央、縦に伸びる道が、国際通り。この通りを中心に奇跡的な発展を遂げ、沖縄最大の繁華街となりました。



上空から撮影

※写真は那覇市歴史博物館所蔵

国際通りの 新名所

沖縄三越の跡地に、2015年
3月にオープンしたエンタメ
満載の複合型観光商業施設
「HAPINAHA(ハピナハ)」



地元の人も観光客も 集う地域へ

沖縄三越の事業再生支援による地域活性化

沖縄三越は1957年の創業以来、那覇市経済の中心である国際通りで、三越商標による百貨店事業を営んできました。しかし、国際通りの客層が観光客・若年層中心にシフトしていったことに加え、おもろまちに代表される新興商業施設が台頭し、近年、事業環境は厳しさを増していきました。こうした中、三越商標の使用期限が2014年9月末で終了。事業継続の見通しは立たず、金融債務の調整を含めた抜本的な事業再構築が必要となりました。また、百貨店不動産は国際通りの中心にあり、事業撤退により廃墟化してしま

うと、周辺地域の経済低迷と治安悪化を招く恐れがあります。そのため、事業再生スポンサーであるリウボウホールディングスと協議を行い、地域経済活性化機構に支援を要請。沖縄三越のメインバンクである沖縄銀行は、機構の支援のもと策定された事業再生計画を精査・検討し、金融支援を決めました。これにより、百貨店不動産は継続して活用され、複合型観光商業施設「HAPINAHA(ハピナハ)」が2015年3月にオープンし、地元の人も観光客も集う地域になるよう、活性化が図られています。

RYUBO
HOLDINGS



① 沖縄銀行

HAPINAHAに潜入!!

6F
|
3F



と沖縄花月

人気お笑い芸人によるライブや「沖縄新喜劇」などの公演が行われる劇場



沖縄おもしろおばけ屋敷

恐怖や驚き、笑い、感動を一度に味わえるおばけ屋敷

2F



Happy Kirakira! Paradise

アニメコスメやかわいい文具・雑貨が集まった楽しさいっぱいのゾーン



サントリー ザ・プレミアムモルツ OCEAN GRILL

日本全国の“うまい”が大集合したバーベキューレストラン

1F



POKÉMON STORE

ポケモンスター



Happy Sweets Street

ハピナハ限定お菓子の販売や手作り体験もできるお菓子ゾーン



Happy Gourmet Marché

泡盛コーナーや離島の食品などのこだわりマーケットゾーン

国際通りを再び活性化させ、 沖縄のさらなる発展に繋げていきたい。

ハピナハがオープンして数カ月経ちましたが、手応えを感じています。多くの観光客で賑わう中、吉本興業の沖縄花月やおばけ屋敷、2階のレストランには、予想以上に地元の皆さまにお越しいただいています。沖縄にはエンターテインメントのオプションが絶対に必要だと感じており、ハピナハのオープンをきっかけに、ミュージカルなど多彩なエンターテインメントが国際通りに増えて欲しい。そうすれば、国際通りの魅力はますます向上すると思います。

また、海外、特にアジアからの観光客が急増していますが、その対応が十分ではありません。海外観光客の多くは、沖縄を「沖縄」として見ているのではなく、一番近い「日本」として見ており、日本の良さや品質を求めています。これからは、「沖縄」ということだけにこだわる必要はなく、施設もお店も個性を出してクオリティーを上げ、差別化していくことが重要です。東西の文化をうまく融合させてきた沖縄らしさを出し、例えば純和風ホテルなどがあってもいい。沖縄の獨創性であるチャンプルー力を、どんどん出していくべきです。

空港から15分というロケーションにある国際通りは、圧倒的なポテンシャルを秘めています。この通りを再び活性化させ、沖縄のさらなる発展に繋げていきたいと思っています。



(株)リウボウホールディングス
代表取締役社長

糸数 剛一 氏

国際通りからスグ!

第一牧志公設市場 沖縄の台所にヨリミチ!



ようこそ!
まちぐわーへ

沖縄銀行 秘書室
我喜屋 希

国際通りに隣接する第一牧志公設市場は、戦後の闇市からはじまり、庶民の台所として親しまれてきました。市場には、沖縄近海で獲れる新鮮で色鮮やかな魚、県産牛、豚の顔(チラガー)、ゴーヤーや島らっきょうなど、沖縄ならではの食材が所狭しと並びます。歩いてみれば、市場のお母さんたちから声を掛けられたりと、沖縄の生活・食文化を肌で感じられる魅力的なスポットです。腹ごしらえには、2階の食堂街へ。ソーキそばやゴーヤーチャンプルーなどの沖縄料理を、心ゆくまで堪能できます。毎月18日前後は「市場(18)の日」。マグロの解体ショーなどユニークなイベントが催され、年末やお盆の時期は、買物客で市場は活気に溢れます。テレビ番組や雑誌で取り上げられる機会も多く、今では観光地としても定番です。歩いて楽しい、食べても楽しい、第一牧志公設市場。ぜひ、お立ち寄りください!

1階 市場



豚肉・牛肉・魚介類をはじめ、加工品や野菜・果物など、
沖縄のあらゆる食材が並んでいます。





地元の人に加え、観光客で賑わう市場内。活気に溢れています！

2階 食堂街

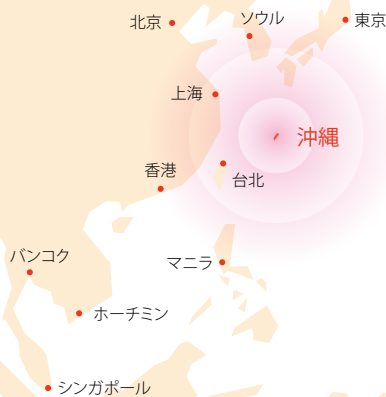
和琉中食堂街。市場内で買った食材を調理してもらい(有料)、その場で食べることも！



地域活性化の取り組み

沖縄の発展を支える。

沖縄銀行は、地域に根ざした活動で、
沖縄の発展とともに歩みを進めてきました。
そして、アジアが急成長を続ける今、
地域活性化の取り組みを、さらに加速しています。
沖縄をもっと元気に、沖縄をアジアとの架け橋へ。
私たち沖縄銀行の挑戦は続きます。



琉球大学との連携による地域活性化

当行は、沖縄の経済産業振興のため、琉球大学 産学官連携推進機構と連携協定を結んでいます。この協定は、琉球大学の人的・知的資源と、当行のコンサルティング機能や企業ネットワークを結びつけ、産学官金連携を強化して、地域活性化を図ることを目的としています。連携のひとつとして、司法試験に挑戦中の琉球大学法科大学院の修了生を嘱託職員として採用し、受験勉強を支援する「リーガルアシスタント」制度を設けています。2014年9月、この制度を利用した3名が司法試験に合格。着実に成果を出しはじめています。当行は、今後も琉球大学と連携し、沖縄の発展に貢献していきます。



① 沖縄銀行

人材育成

- インターンシップ
- リーガルアシスタント
- 講師派遣（寄附講座）
- 学生ビジネスアイデアコンテスト

産業育成

ものづくり分野・農業分野 ほか

調査・分析協力、商品開発、販路拡大、
共同研究マッチング

大学側 ▶ 事業化（シーズ活用）
企業側 ▶ 課題解決



まぐろ問屋による
マグロの解体ショー

賑わいを見せる
フリー商談会場



アジアとの交易拠点へ 食の国際商談会「沖縄大交易会」を開催

海外販路の開拓・拡大をめざす県内外のサプライヤー企業と、県外・海外のバイヤー企業を結びつける食の国際商談会「沖縄大交易会」。当行は、共催の立場で全面的に参加・支援しています。この商談会は、日本全国の特産品を、沖縄から人口20億人もの巨大アジアマーケットに売り込む、絶好の機会となっています。2014年11月27日・28日に開催された際には、出展サプライヤー約200社、バイヤー176社が参加し、2日間で1,861もの個別商談が行われました。主催は、沖縄県と沖縄懇話会で、各外郭団体や県内金融機関なども含めオール沖縄体制で取り組んでいます。成長著しいアジアに近いという優位性、そして24時間対応可能な国際物流ハブ機能を活かして、沖縄をアジアとの交易拠点にしていき、さらなる地域活性化をめざします。



リーガルアシスタント制度が、 司法試験合格を後押ししてくれました。

体験談

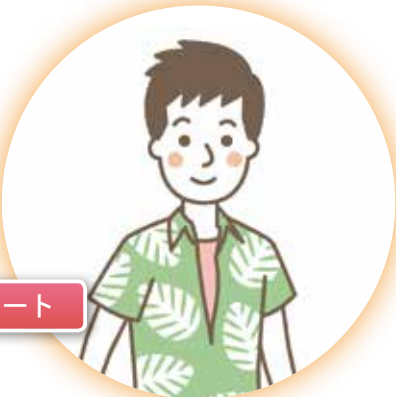
琉球大学法科大学院 修了生
伊佐 香菜子さん

リーガルアシスタント制度を利用

私は、今回二回目の受験で、無事に司法試験に合格することができました。受験を続けるためには、1日のほとんどの時間を勉強に充てなければいけません。書籍代などで、経済的な負担も大きいです。今回、リーガルアシスタントとして採用され、支援していただいたことで、恵まれた環境の中で勉強を続けることができ、合格につながりました。また、リーガルアシスタントとして働くことで、銀行を内部から見ることができ、銀行法務の厳しさを肌で感じることもできました。この経験は、今後法曹として活動していく上で、大きな糧になっていくと思います。最後に、沖縄銀行の皆さまが合格を祝福してくださり、多くの方々に支えられて司法試験に合格できたこと、大変感謝しています。この思いを胸に、法曹として活躍できるよう、日々努力し続けたいと思います。

人生まるごと、 いつでも おきぎん。

沖縄銀行は、皆さまのそれぞれのライフステージに合わせた
幅広い商品・サービスをご用意し、親身に寄り添いサポートします！



海外でリフレッシュ！

- 外貨両替
- おきぎんVISAカード
- おきぎんJCBカード「Pi Pu Ca」

新生活スタート

- 普通預金
- 積立式定期預金
- インターネットバンキング「おきぎんeパートナー」★
- おきぎんVISAカード ● おきぎんJCBカード「Pi Pu Ca」



クレジットカード一体型キャッシュカード
<指静脈認証機能、IC機能搭載>

大人の仲間入り、 社会人デビュー

- 総合口座
- 一般財産形成預金
- 財産形成年金預金
- 財産形成住宅預金
- カードローン「チェックット」

仕事にも慣れて、 充実した毎日♪

- 定期預金★
- 投資信託
- NISA (少額投資非課税制度)
- 各種保険

20代



かんたん・便利なお支払い！ Pay-easy収納サービス



インターネットバンキングで
公共料金・税金のお支払い！

公共料金・税金・オンラインショッピングの購入代
金などを、インターネット・モバイルバンキングか
らお支払いできるサービスです。収納機関から利用
者に送付された請求書(納付書・払込書)の上記マー
クが表示された料金を、お支払いできます。



かんたん・便利なATMをご利用ください！ ATM de 定期

1年以上の定期預金は店頭表示金利に
金利上乗せ十年0.07%!

かんたん・便利なATMで定期預金を預けると、金
利がさらにオトクに！詳しくは、お近くの窓口
までお気軽にお問い合わせください。

※+0.07%の金利上乗せは、当初満期日までの適用となります
※自動継続後は、継続時の店頭表示金利を適用します



**運命のあの人と、
ついに結婚♡**

- 定期預金 ★
- 目的別ローン
「おきぎんローン市場」
・プライダルローン
・引越しリビングローン
・マイカーローン
・メディカルローン
・トラベルローン
・資格・カルチャーローン
・パソコンローン
・寿ローン

家族が増えました！

- 医療保険
- がん保険
- 学資保険
- 収入保障保険

子どもが学校へ！

- 教育ローン ★

念願のマイホーム！

- 住宅ローン ★
- リフォームローン

**シニアライフも
視野に**

- 相続相談
- 事業承継
- 信託関連業務
- 一時払終身保険
- 一時払個人年金保険
- 教育資金一括贈与信託

沖縄銀行の商品・サービスの進化は続きます
▶ 新たな取り組みは、次ページをご覧ください

30代 > 40代 > 60代 >

3

**親心、応援します！
おきぎん教育ローン**

**お子さまの成長をサポート
受験費用、入学金に、授業料も！**

お子さまの豊かな可能性を伸ばしていきたい。その思いは、子を持つ親は抱くもの。そんな親心に、当行はお応えします。ぜひ、お近くの窓口にご相談ください。

4

**住まいづくりをバックアップ！
「住まいるサービス」**

**今がチャンス
金利引下げ実施中！**

マイホームの建築・購入・リフォームやアパートの建築など、あなたの住まいづくりをバックアップ！ただいま金利引下げ実施中！住宅ローンの借り入れ、借り換えをお考えの方は、今がチャンスです！

県内金融機関
初

おきぎん、 LINE@“はじめる”。

今すぐ友だちになって、オトクな情報をゲットしよう!



LINE
とは?

LINEは、24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめる、新しいコミュニケーションアプリです。

※「LINE」は、LINE株式会社が提供するアプリです。ご利用設定は、お客様の判断をお願いします。

沖縄銀行を友だち登録しよう!

●QRコードから
右のQRコードを読み取って登録



●LINEアプリから
公式アカウント画面から、
IDまたはアカウント名を検索して登録

アカウント名 **沖縄銀行** ID **@okinawabank**

便利な店舗情報も!

- 店番
- 最寄り駅・バス停
- 電話番号
- ナビ
- ホームページ(店舗ページ)

イベント情報も!

- 沖縄国際映画祭
- 沖縄マラソン
- セブン銀行とのATM利用提携など

キャンペーンのプレゼント情報も!

こんなプレゼント情報がありました!

- ファミマカフェアイスコーヒー引換券
- ファミリーマートお買物券(500円分)
- ファミリーマートフライドチキン引換券
- 図書カード



Voice

支店までの道のりがわかる!

普段、銀行に行くことがない父が、おきぎんの支店にひとりで行くことになり、心配でこの機能(ナビ)を教えました。帰宅後「ナビは便利だな」とうれしそうでした。(30代・会社員)

友人との待ち合わせで!

新都心支店に隣接しているスーパーで、友人と待ち合わせたとき、友人が道に迷ったので、この機能を教えたら、スムーズにたどり着き、感謝されました。(40代・会社員)

支店に電話したいときに!

ATMに傘を忘れてしまい、支店に電話するとき、便利でした。(30代・主婦)

LINE友だち限定で壁紙配信中!



おきぎん新イメージキャラクターの魅力が満載!

スマホも “はじめる”



👉 おきぎんのホームページがスマートフォンで見やすくなりました

🔍 沖縄銀行

CSRの取り組み

地域密着・地域貢献のピープルズバンクへ！

おきぎんの人づくり

お客さま目線の人づくりを人材育成の基本としている沖縄銀行は、公的資格の取得を推奨し、知識・実践スキルが高く、地域金融機関としてお客さまに求められる人材の育成をめざしています。

中小企業の
後継者問題を
サポート

「M&Aシニアエキスパート」を育成！

沖縄県の中小企業の課題である後継者不足や業界再編に対応するため、当行は「M&Aシニアエキスパート」の有資格者の育成を推進しています。現在、全国の金融機関で最多の30名が有資格者で、この取り組みが評価され、「第3回バンクオブザイヤー」で表彰*されました。今後も人材育成を推進し、地域経済の活性化に貢献していきます。

*M&Aの専門知識を持つ行員の育成や、内部体制を強化した銀行に贈られる「アクティベーション賞」を受賞



「第3回バンクオブザイヤー」での表彰式

ご高齢者に
寄り添う

「認知症サポーター」に認定！

お客さま目線の人づくりの一環として、当行行員は「認知症サポーター養成講座」を受講し、160名が認定され、当行の認知症サポーターは計214名となりました。本講座を通して得たノウハウを活かし、記憶力や判断能力の低下によりお困りのお客さまを、特有の言動などから察知して、親身にサポートしていきます。



「認知症サポーター養成講座」を受講

ユニバーサル
サービス

「サービス・ケア・アテンダント」資格を取得！

全てのお客さまに利便性の高いユニバーサルサービスを提供するため、当行は「サービス・ケア・アテンダント(SCA)」資格の取得を推進しています。当年度は34名が取得し、SCA資格保有者は、計137名となりました。障がいの有無や年齢・性別・国籍を問わず、当行を快適にご利用していただけるよう、サービス向上に努めます。



体験学習を実施



おきぎんは応援します

活躍してます、女性行員！

本部と配属先店舗のサポートもあり、
新たなことにチャレンジしています。

キャリア形成

入行当初から、「法人融資を担当したい」という思いはあったものの、周囲になかなか伝えられずにいました。そのような中、人事部から女性の「企業係」の募集があり、これを機にチャレンジしました。初めての業務だったので不安もありましたが、研修もあり、配属先では支店全体で想像以上のサポートをしていただき、業務に取り組んでいます。まだ、至らないことも多いですが、お客さまにより良い提案ができるようになりたいと思っています。



波之上支店
當山 圭子



読谷支店
新垣 真理子

時短勤務で仕事と家庭を両立し、
子どもとともに成長しています。

ワークライフ
バランス

今年の5月に育休から復帰し、時短勤務制度を利用させていただき、仕事と家庭を両立しています。一緒に働く仲間の理解と協力があり、そして支店全体で支えてもらっているので、大変感謝しています。復帰には不安がありましたが、育休中に懇談会があり、人事部から育児制度の説明があったり、同じ育児休業の行員と情報交換ができたりもして、とても助かりました。おかげさまで、あと数年で勤続25年。今は、その目標に向かって頑張っています。

PICK UP | 女性のためのリーダー養成講座

業種を超えたリーダーとともに学ぶ

女性行員の活躍推進の一環として、営業店の女性リーダーが、モチベーションアップとキャリアアップを目的とした研修に参加しました。この研修に参加した行員は、異業種の女性リーダーと合同で講座を受講することにより、柔軟かつ発展的な思考力を培うとともに、新たな視野を養うことができました。



CSRの取り組み



地域社会への貢献

美ら島のために、できること

沖縄銀行は、健康・環境・教育・福祉・文化への取り組みを通じて、地域社会に貢献するとともに、「健康応援BANK」として、県民や役職員の健康推進も図り、沖縄の長寿日本一復活をめざしています。

健康応援BANK

「長寿日本一復活キャンペーン」を推進

当行は、「健康・長寿の島おきなわ」の復活に向けて、「長寿日本一復活キャンペーン」を推進しています。このキャンペーンでは、ウォーキング大会への参加、各種スポーツイベントへの協賛、役職員への儉約・節約・健康推進運動、医療福祉業界との提携などを行い、地域とともに県民の健康づくりに取り組んでいます。



「健康ウォーキング大会」に参加

地域・企業への 情報提供

三浦 豪太氏を招聘し、講演会を開催

おきぎんカトレアクラブ*は、80歳でエベレストに登頂を果たした三浦 雄一郎氏のご子息でもあり、プロスキーヤー、冒険家、博士(医学)の三浦 豪太氏を講師に招き、2014年4月に講演会を開催しました。講演会では、エベレスト登頂の成功体験のほか、雄一郎氏が登頂を決意したきっかけなどについて講演いただき、好評を博しました。



講演する三浦 豪太氏

*当行の創立45周年を記念して発足し、主に法人のお客さまを対象とした、事業経営などの各種情報を提供する会員制のクラブ

金融教育活動

「エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催

2014年12月、認定NPO法人 金融知力普及協会との共催で、「第九回エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催しました。同大会では、高校生が金融・経済の知識をクイズ形式で競い合い、優勝チームは東京で開催される全国大会に進出しました。今後も金融経済教育活動を通じて、沖縄の青少年の健全な育成に貢献していきます。



沖縄大会に参加した高校生たち

おきぎんは、サポートします!

「おきぎんふるさと振興基金」による支援

おきぎんふるさと振興基金は、地域の将来を担う新たな産業の創出や、伝統文化の継承・発展などに取り組む県民の皆さまの支援に努めています。2014年度は、10先へ総額500万円の助成を行いました(1991年度助成開始からの助成先総数は236先、助成額は1億5,220万円)。



「らい君を救う会」へ寄付金を贈呈

突如の難病に襲われた、北谷町のサッカー少年・松島良生君^{らい}。救命には海外での心臓移植、そしてそのための莫大な費用が必要でした。これを受け、「らい君を救う会」が結成。募金活動が行われ、当行も少しでも力になればと、2014年10月に寄付金500万円を同会に贈呈しました。



「全国ろうあ者体育大会」へ寄付金を贈呈

当行は、「第48回全国ろうあ者体育大会」の沖縄開催を受け、大会実行委員会へ寄付金を贈呈しました。本大会では、野球・サッカー・バレーボール・バスケットボールなど10種の競技が行われ、選手は日ごろからの練習の成果を十分に発揮するよう取り組みました。



お知らせ

震災復興支援の取り組み

東日本大震災への復興支援

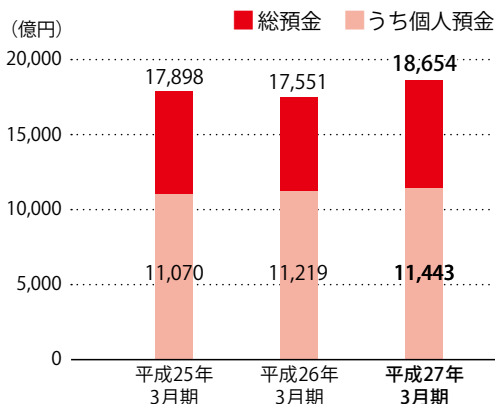
当行は県内全店の窓口に、東日本大震災義援金の募金箱を設置しています。2011～2014年度の累計で、639万円の募金を日本赤十字社にお届けしました。

ネパール大地震 被災地への義援金

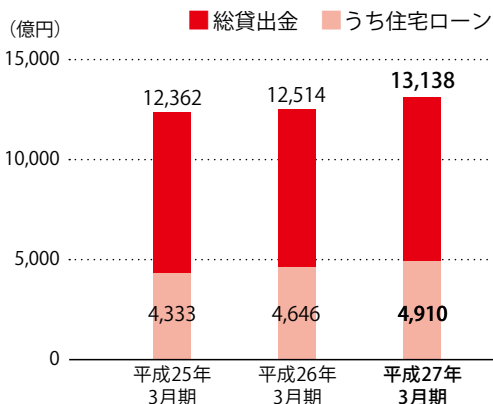
2015年4月に発生し、首都カトマンズを中心に甚大な被害を及ぼしたネパール大地震。当行は、できるだけ早く沖縄からも支援を行っていききたいという思いから、義援金100万円を贈呈しました。

沖縄銀行 平成27年3月期 業績ハイライト(単体)

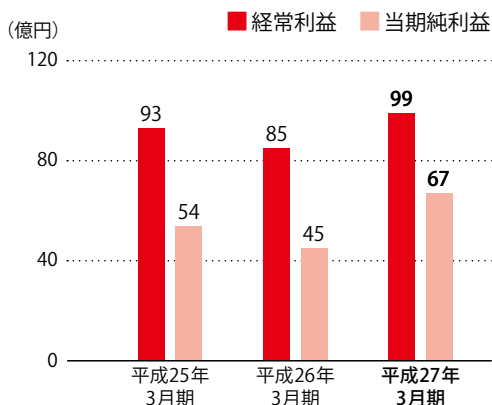
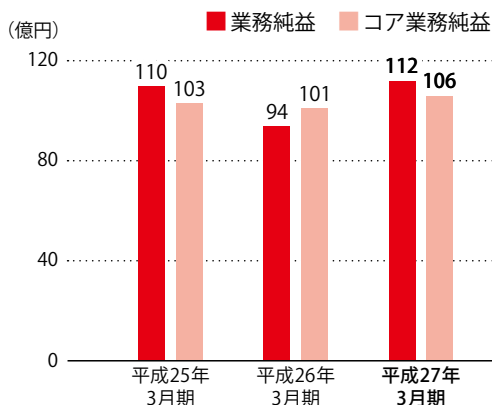
預金



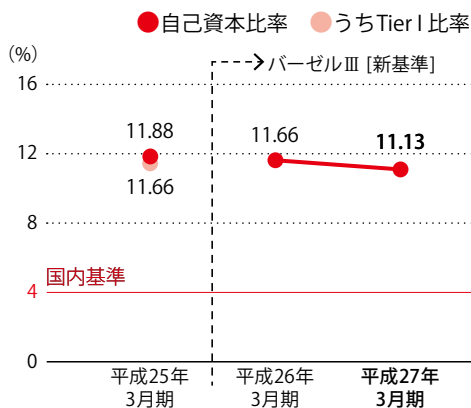
貸出金



損益の状況



自己資本比率



■ 自己資本比率とは？

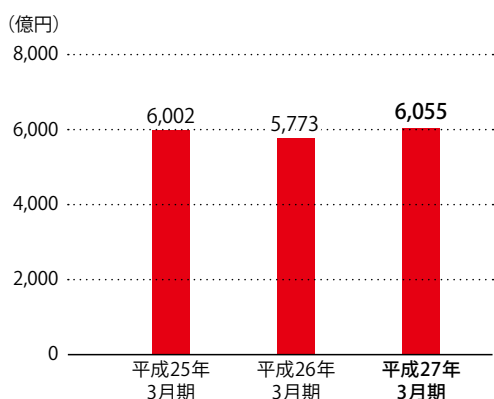
総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外営業拠点をもたない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

■ Tier I 比率とは？

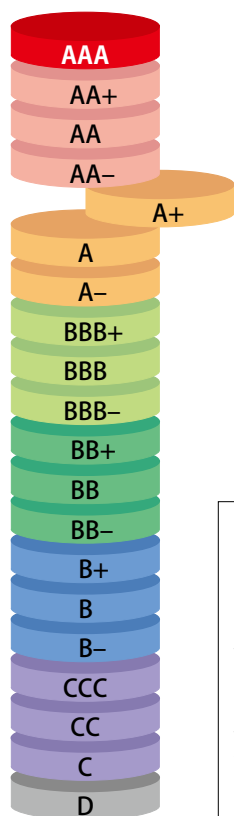
自己資本は、資本金・法定準備金・剰余金などで構成される基本的項目(Tier I)と一般貸倒引当金、劣後債務などで構成される補完的項目(Tier II)に区分されます。Tier I 比率は補完的項目を除いた実質的な自己資本比率といえます。

※自己資本比率は、平成26年3月期より新基準にて算出しています

有価証券残高



銀行の財務内容の健全性を 評価する「格付」



あんしん、なっとく
やっぱり、おきぎん
「A+」を取得

■ A+とは？

当行は日本格付研究所(JCR)より長期優先債務について「A+(シングルAプラス)の格付評価を取得しています。「A+」は20ランク中上位5番目に位置し、「債務履行の確実性が高い」とされており、当行は財務内容の健全性について高い評価を得ています。

銀行の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社 沖縄銀行
設立	昭和31年6月21日
創業	昭和31年7月10日
本店所在地	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号
総資産	2兆0,236億円
預金残高	1兆8,654億円
貸出金残高	1兆3,138億円
資本金	227億25百万円
自己資本比率	11.13%
従業員数	1,091名
店舗数	65店舗

おきぎんグループ

- 総合リース業
株式会社 おきぎんリース
- クレジットカード業務
株式会社 おきぎんジェーシービー
- 保証業務
おきぎん保証 株式会社
- コンピュータ関連業務
株式会社 おきぎんエス・ピー・オー
- 代行業務
おきぎんビジネスサービス 株式会社
- 債権管理回収業
美ら島債権回収 株式会社
- 金融・経済の調査・研究業務 / 経営相談業務 ほか
株式会社 おきぎん経済研究所

沖縄銀行

新イメージキャラクター

リトルツインスターズ

はじめます!

地域に親しまれる銀行として、これからも多くの人に愛されるよう、「Little Twin Stars」をイメージキャラクターとして採用しました。



Little Twin Stars

©1976, 2015 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G561229

PEOPLE'S BANK

ピープルズバンク

① 沖縄銀行